

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	23001	事業名	災害時応急活動充実・強化事業				評価分類	A1	
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	06:防災・減災対策の強化				款	02:総務費		
		施策の方向	02:防災環境の充実				項	01:総務管理費		
	重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト				目	13:災害対策費			
	事業期間	R 6 年度 ~ R 8 年度		主な根拠法令等		災害対策基本法、国民保護法				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)			
	全国各地で毎年のように自然災害が発生し激甚化している中、大規模災害にも対応できるよう本市の災害発生時における情報収集及び災害廃棄物処理等の応急活動の体制を充実・強化する必要がある。	市民、関係自治体	災害初動時に必要な被害情報を積極的に入手し救助救援活動に資するとともに、災害発生時に予想される大量の災害廃棄物の円滑な処理を図り、早期に復旧活動へ移行できる体制づくりを行う。また、機材や物資の保管・備蓄の基盤を充実する。	1. 災害初動時の迅速な被害情報収集及び救助救援手段としてドローン・救助艇を導入 2. 災害時に発生する大量の災害廃棄物の運搬及び仮置き場での処理の円滑化 3. 機材の保管や備蓄の多様化に対応するため防災倉庫の拡充 4. 人材育成			

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画						○防災倉庫増築 ○機材導入(油圧ショベル、ダンプ等) ○人材育成(油圧ショベル等)		○人材育成(油圧ショベル等)		
	活動実績 (計画通り実施できたか)						防災倉庫を増築したほか、油圧ショベルや救助艇、ドローンなどの機材を導入した。また、油圧ショベル(整地)やチェーンソーの資格取得研修等を実施するとともに、外国人を対象とした避難所運営等の研修を実施し、災害対応力の強化を図った。		油圧ショベル(整地・解体)やチェーンソーの資格取得研修等を実施するとともに、外国人を対象とした避難所運営等の研修を実施した。また、半導体不足の影響で納品が遅れていた各種ダンプ、フォークリフトの資機材を配備した。		
	計画額	事業費					26,700千円	9,697千円	3,000千円	19,927千円	
		国・県支出金									
		地方債									
		その他					26,350千円	9,422千円	3,000千円	19,927千円	
		一般財源					350千円	275千円		0千円	
	決算額	事業費						9,606千円		19,927千円	
		国・県支出金						0千円		0千円	
地方債							0千円		0千円		
その他							9,364千円		19,927千円		
一般財源							242千円		0千円		
①期間内計画額(R4-7)		29,700千円		②期間外計画額(R8-)		3,000千円		①+②総計画額		32,700千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	16,927千円
当年度の最終予算額	3,000千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	重機等の配備率	重機等新規配備台数／(油圧ショベル1台、ダンプ3台、救助艇1艇、ドローン1台)	活動	%	計画値			100	
					実績値			50	100
	講習受講者数	特別教育受講者/20名	活動	人	計画値			20	20
					実績値			20	26
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	職員を対象に油圧ショベル等の資格取得研修や外国人対象の避難所運営等研修を実施し、災害対応力の強化に貢献した。また、半導体不足の影響から納品期間が延長となったダンプ、フォークリフトも納品され、装備の充実が図れた。
	十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民、関係自治体	災害初動時に必要な被害情報を積極的に入手し救助救援活動に資するとともに、災害発生時に予想される大量の災害廃棄物の円滑な処理を図り、早期に復旧活動へ移行できる体制づくりを行う。また、機材や物資の保管・備蓄の基盤を充実する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	職員を対象とした油圧ショベル等の操作研修や外国人を対象とした研修を引き続き実施することで、災害対応力のさらなる向上を図る必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	災害対応能力の向上を目的として、各種研修を実施し、災害時に迅速かつ的確に対応できる体制の強化を図る。	B&G財団の支援金を活用した箇年事業(令和6年度～令和8年度)のため、令和8年度で完了とする。

(履歴)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定			B	A
事業展開			継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	防災安全課 防災安全GL 高野 利人
最終評価者	防災安全課長 佐野 匡史